

刊 行 の  
お 知 ら せ



# チベット・ウメ字転写 梵文写本集成影印版

『律經 (Vinayasūtra)』

『律經註 (Vinayasūtravṛtti)』

『廻諍論 (Vigrahavyāvartanī)』

『相論疏 (Lakṣaṇaṭīka)』

大正大学総合佛教研究所は、西藏自治区政府文物管理委員会の承認の下、1994年以来、『瑜伽師地論声聞地梵文原文影印本』、『不空羼索神變真言經梵文写本影印版』、『大衆部説出世部律・比丘威儀法梵文写本影印版』を順次出版してきました。このたび第四番目の成果として『チベット・ウメ字転写梵文写本集成影印版』を出版することとなりました。その大部分は、チベットのウメ (dbu med) 字体でサンスクリット語文献が転写されております。今回の出版では、『律經 (Vinayasūtra)』、『律經註 (Vinayasūtravṛtti)』、『廻諍論 (Vigrahavyāvartanī)』・『相論疏 (Lakṣaṇaṭīka)』 (仮題) という四文献の写本が影印版として復元されております。

# チベット・ウメ字転写 梵文写本集成影印版

- 『律經 (Vinayasūtra)』
- 『律經註 (Vinayasūtravṛtti)』
- 『廻諍論 (Vigrahavyāvartanī)』
- 『相論疏 (Lakṣaṇatīka)』

『律經』及び『律經註』は、チベットに於ける律研究の教科書として長年にわたって用いられてきた文献です。『翻訳名義大集 (Mahāvīyutpatti)』の律関係の用語がこれらの文献に基づいていることも、近年明らかにされてきています。『廻諍論』は龍樹作に帰せられる中観論書です。そして『相論疏』には、月称 (Candrakīrti) 作の中観論書に対する簡易なサンスクリット語ノート等が含まれています。

いずれの文献も、その写本の姿が一般に公開されるのは世界初であり、今後の佛教研究に必要不可欠な基礎資料となるでしょう。大正大学総合佛教研究所では、過去三回の出版と同様に、各文献の解題・文字表を含む小冊子を付録として添付いたします。

このたびの出版物には数に限りがありますので、下記申し込み用紙にてお早めにお申し込みください。予定数に達しましたら締め切らせていただきますので、予めご了承ください。お支払いにつきましては、発送の際に請求書を同封いたします。

〈キトリ線〉

『チベット・ウメ字転写梵文写本集成影印版』を申し込みます。

ご住所：

大学研究室：

担当者：

電話番号：

影印127葉・両面絹刷・解説付・桐函映入

頒 価 / 180,000円  
梱包送料 / 国内 3,000円

大正大学総合佛教研究所

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3丁目20番1号  
TEL 03-3918-7311 (代表)

人キトリ線